

角 谷 均

角谷均氏は長年にわたり、超高压技術を用いたダイヤモンドおよび立方晶窒化ホウ素（c-BN）の合成について先駆的な研究に取り組んでこられました。特筆すべき業績として、バインダレスナノ多結晶ダイヤモンド（NPD）の開発とそれを用いた切削工具の実用化が挙げられます。NPDを用いた切削工具は従来のダイヤモンド切削工具と比較して格段に切削性能が高く、硬脆材料の精密加工分野において技術革新を引き起こしました。

角谷氏は、さらに同様の超高压技術を適用してバインダレスナノ多結晶c-BNの合成にも成功し、従来困難であった鉄系材料をはじめとする難削材料の高速切削加工や高精度加工を可能にしました。また、ダイヤモンドやc-BNの超高压直接合成に関する基礎研究についても顕著な業績があり、不純物が少ない透明なダイヤモンド結晶合成など、数多くの技術革新を生み出して材料科学分野へも多大な貢献を為しています。学術的にも、本学会をはじめ各種学会で自ら精力的に講演や指導を行うとともに、大阪大学招へい教授、愛媛大学客員教授、日本高圧力学会監査役、ニューダイヤモンドフォーラム監事を務めるなど、大きく貢献しています。

以上のように、角谷均氏は、精密工学会のみならず日本の材料加工技術全般において産業界および学術界に対し長年にわたり多大な貢献をされてきました。ここにその功績を称え、精密工学会賞を贈賞いたします。

略 歴



- 1984年 大阪大学大学院基礎工学研究科修士課程修了
- 1984年 住友電気工業株式会社入社
- 1999年 住友電気工業株式会社伊丹研究所主任研究員
- 2006年 大阪大学極限科学研究センター客員教授（兼）
- 2008年 住友電気工業株式会社アドバンストマテリアル研究所グループ長
- 2009年 愛媛大学地球深部ダイナミック研究センター客員教授（兼）
- 2014年 住友電気工業株式会社技師長・フェロー
- 2019年 大阪大学基礎工学研究科附属極限科学センター招へい教授（兼）